

# 石川 広報

元 - 1号

発行 令和元年 6月12日(水)  
発行人 石川地区小学校長会長 芳賀 徹  
編集者 石川地区小学校長会 広報部会

## [ 巻頭言 ] 吉田松陰から学ぶこと

石川地区小学校長会長 芳賀 徹  
(石川町立石川小学校長)

私には、校長になってから、心の師とする歴史上の人物がいます。それは、幕末の思想家の吉田松陰です。吉田松陰は、山口県の「萩」に「松下村塾」という私塾を開き、たった1年1か月の間で79名の若者にいろいろなことを教えました。79名の門下生の中には、高杉晋作、久坂玄瑞、木戸孝允、伊藤博文、山形有朋など、後に明治政府を作り、支えた人物を輩出しました。そして、驚くことに、その時代に門下生が外国の文化や政治について学ぶために5、6人ほどヨーロッパに留学しているのです。

さらに、門下生の中から、明治維新後の総理大臣が2名、10数名の大臣がでました。

松下村塾は、優秀な人材を集めたかという点、全然そうではなくて、ほとんどが普通の若者で武士や商人や農民などだったそうです。

そこで、吉田松陰は、たった1年と1か月教えただけで、その中から、明治政府を担う凄い人達を輩出したのです。彼は、まさに、人は教えによって変わるということを短期間のうちに実践したのです。

それでは、そこにはどんな秘密があったのでしょうか。私は特にこの点に興味を持ちました。調べてみると、吉田松陰は、一方的な授業をすることなく、塾生の意見を聞くなど対話を重んじることで、一人一人の個性や能力を發揮させ、可能性を引き出したということです。具体的な例を申し上げますと、「お前は何のために生まれてきたのか」「お前が生まれてきた役割は何か」と問い、自分の長所や社会での役割に気づかせたというこ

とです。

また、中には、「松陰先生、世の中に生まれてきた役割といっても分かりません」と答えた門下生もいたそうですが、そんな門下生に対しては、「至誠を貫きなさい。至誠とは普段やらなければならないことを真剣に本気で誠意を持ってやることだ。・・・絶対に手を抜かないで真剣にやりなさい。そうしたら、いつか自分の役割が分かる」と諭したそうです。

これを学校経営に見立てた場合、教員一人一人が教育の原点に立ち返って、今、教師として何をすべきなのか、一人一人が学校で自分の長所を生かして取り組むべきことは何なのかに気づかせていくことが大切なのかもしれません。自分の役割を知った人間は、意欲的に物事に取り組むようになると思います。

また、教育においても至誠を貫くことは、とても大事なことだと思います。例えば、全員の靴箱の靴がきちんとそろっている学校は、間違いなく全ての面で子どもたちは素晴らしい力を発揮します。

郡山のある中学校を訪問した時に、校長先生が、「全校生でトイレ掃除に取り組んでいる」ということを話していました。その中学校は、学力も部活動でも良い成績を収めています。挨拶もとても素晴らしいです。一つの事が徹底できれば、様々な面に波及していくという良い例だと思います。私は、これからも、吉田松陰先生の教えを常に肝に銘じてがんばっていこうと思っています。

## 行財政部活動計画

行財政部長 草野 正夫

県内の人事の反省からは、各支会の共通する喫緊の課題（大量退職、講師不足、昇任問題等）が浮かび上がってきます。厳しい状況の中ですが、石川支会では、県小中学校行財政部（会）の活動方針のもと、会員相互の理解、協力を得て次の活動を推進します。

### 1 活動方針

- (1) 県小学校長会行財政部との連携を図る。
- (2) 調査研究、要望活動の資料作成を進める。
- (3) 教育行政上の諸問題の情報収集にあたる。
- (4) 組織をあげて地区課題の解決活動にあたる。
- (5) 関係機関との連携、各部会との連携を強化して、組織的な課題解決にあたる。

### 2 活動内容

- (1) 学校経営上の諸問題について、問題提起と資料提供をする。
- (2) 各調査活動を実施する。
- (3) 地区出身教職員等の調査や補充教員可能者の調査を実施する。
- (4) 教育予算、人事に関する要望活動をする。
- (5) 教育問題、経営理論等の話題提供をする。

### 3 活動計画(主なもの)

月	内 容
4	○ 組織作りと活動計画立案
5	○ 県行財政部会の行財政調査
6	○ 調査の回収・集計、県への送付 ○ 地区出身者、補充教員可能者調査
8	○ 年度末人事反省に基づいた要望
9	○ 要望活動の推進
1	○ 支会活動の総括
3	○ 年間人事「教職員人事の反省」の集約、県へ送付

## 研究部活動計画

研究部長 我妻 浩之

### 1 目標

- (1) 小学校教育の本質を踏まえ、時代の変化に対応できる調和のとれた学校経営を目指す。
- (2) 経営者としての力量を高め、学校経営の充実に役立てる。
- (3) 研修を通して、校長としての識見を広め、自校の課題解決を図る。

### 2 活動計画

- (1) 研究内容
  - ① 県小学校長会の掲げる主題研究
  - ② ①を受けた石川地区小学校長会の当面する研究課題

### 3 研究の進め方

- (1) 第1年次（平成30年度）
  - ① 2年間にわたる研究計画を立てる。
  - ② 東北連小で、研究成果を発表する。
  - ③ 1年次の研究成果をまとめる。
- (2) 第2年次（令和元年度）
  - ① いわき大会で研究成果を発表する。
  - ② 2年次の研究成果をまとめる。

### 4 具体的な研究推進

- (1) 校長会、協議会で研究を推進する。
- (2) 分科会を設け、課題別に研究する。
- (3) いわき大会発表を中心課題とする。

### 5 本年度の研究推進の日程(主なもの)

月 日(曜)	内 容
4.23 (火)	○第1回地区小学校長会研修会 ・研究計画の作成
5.21 (火)	○第1回地区小学校長会部会 ・分科会研修、いわき大会について
6.12 (水)	○第2回地区小学校長会研修会 ・分科会研修、いわき大会リハ
10.8 (火)	○第3回地区小学校長会研修会 ・分科会研修
12.5 (木)	○第2回地区小学校長会部会 ・今年度の反省、次年度の研究について

## 生徒指導部活動計画

部長 三浦 孝一

### 1 活動方針

石川地区の生徒指導上の課題解決のために、石川地区学警連と連携し双方の情報共有を通して児童の健全育成を推進する。

### 2 活動内容

#### (1) 部会開催

【5月10日(金)：石川中】

学警連との第1回合同研修会  
石川地区小中学校生徒指導研究会総会  
役員会

【11月11日(月)：石川中】

学警連との第2回合同研修会

#### ①事例発表

石川小学校 浅川中学校  
学法石川高等学校

#### ②ご指導 石川警察署

生活安全・少年係長 江川 正範様  
専門少年警察補導員 秋元久美子様

#### ③講話 白河学園職員による事例講話を検討中

#### (2) 「生徒指導情報」第37号発行

#### ①原稿執筆

○学警連会長  
○各校の生徒指導の取り組み  
・蓬田小学校  
・古殿中学校

#### ②紙面構成 A4裏表2ページ1枚

※ 今年度より印刷は事務局対応予定

### 3 その他

(1) 支会内の生徒指導上の課題について方部理事を中心に実態を把握し、適時小・中間で情報の共有を図る。

(2) 学校・保護者・地域との連携を密にとり、校長のリーダーシップの下、積極的な生徒指導を推進する。

## 広報部活動計画

部長 渡邊 良一

### 1 活動・編集方針

「広報石川」の発行を通して地区小学校長会の円滑な運営や情報交換等に寄与するために、会員相互の交流を深める情報の収集と提供に努め、広報活動の充実を図っていく。

(1) 校長としての職能の向上と本会活動への会員の積極的な寄与を目的とした編集を行う。

(2) 学校教育や校長の果たす役割に関わる課題性・適時性・話題性等をふまえた内容による魅力ある紙面づくりを行う。

(3) 原則として全会員に執筆を依頼し、会員一人一人の創意工夫を生かした編集を行う。

(4) 県広報部との連携を図る。

○ 令和元年度福島県小学校長会会報の各支会だよりの執筆を担当する

### 2 活動・編集計画

(1) 年2回の発行とし、発行予定日・内容は、次のとおりである。

○元-1号 6月12日発行

・巻頭言(地区小学校長会長)  
・各部会活動計画

○元-2号 12月5日発行

・巻頭言(地区小学校長会副会長)  
・新任、転入校長より(2校)  
・学校紹介(4校)

(2) 巻頭言では、校長会長・副会長から幅広い視野で教育について提言を受ける。

(3) 各号とも2名の広報部員が原稿依頼・編集・印刷・配付にあたる。

(4) 配付先は下記のとおりである。

○会員  
○地区教育委員会  
○地区退職校長会  
○県中教育事務所  
○県広報部長  
○地区中学校長  
○転・退職者

## 総務部活動計画

部長 三浦 孝一

### 1 活動方針

小学校長会研修会を柱に、各専門部の活動の充実を図り、支会活動の活性化と各会員の学校経営能力を高める。

### 2 活動内容

#### (1) 小学校長会研修会

- 学校を取り巻く課題等に対する各校の取組について情報交換を行うとともに学校運営に関する問題提起の場を第2回の研修会に設定する。
- 第3回研修会では、教育事務所から講師を招き、学校経営上の諸問題、対策等についてご指導いただく。

#### (2) 分科会研修

今年度は2年研究の2年目にあたり、第2、第8分科会の2分科会で進める。特に第8分科会は、昨年度の東北連小青森大会での発表に引き続き、県小学校長会研究協議会いわき大会での発表が割り当てられている。

#### (3) 各専門部の活動

「行財政部」「研究部」「広報部」「生徒指導部」の各部において、県小学校長会との連携を図っていく。その上で、地区の実態を考慮した推進計画もとに、特色ある活動を実践し、12月の小学校長部会で成果と課題を発表し合い、次年度の活動にいかす。

## 令和元年度 石川地区小学校長会組織表

本部役員		
会長	芳賀 徹	石川小
副会長	草野 正夫	浅川小
	目黒 慎治	蓬田小
総務部長	三浦 孝一	野木沢小
経理部長	塩田 明美	須釜小
行財政部長	草野 正夫	浅川小
研究部長	我妻 浩之	沢田小
生徒指導部長	三浦 孝一	野木沢小
広報部長	渡邊 良一	玉川一小
監事	舘 初浩	古殿小

県小校長会理事		
会長	芳賀 徹	石川小
副会長	草野 正夫	浅川小

方部理事		
石川	我妻 浩之	沢田小
玉川・浅川	渡邊 良一	玉川一小
平田・古殿	目黒 慎治	蓬田小

各部部員			
行財政部 (3)	部長	草野 正夫	浅川小
	部員	塩田 明美	須釜小
	部員	双里 義和	小平小
研究部 (2)	部長	我妻 浩之	沢田小
	部員	芳賀 徹	石川小
生徒指導部 (2)	部長	三浦 孝一	野木沢小
	部員	舘 初浩	古殿小
広報部 (2)	部長	渡邊 良一	玉川一小
	部員	目黒 慎治	蓬田小

石川地区小学校教育研究会		
会長	渡邊 良一	玉川一小
副会長	草野 正夫	浅川小
事務局	我妻 浩之	沢田小
会計	野口 庄蔵	小平小

石川地区小学校体育連盟		
会長	舘 初浩	古殿小
副会長	双里 義和	小平小

